



主要な農作物の生育情報



令和6年度 第8号
(令和6年1月7日現在)
福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稲

本年の刈取盛期は10月6日で、平年より3日早くなりました。

9月25日現在の水稲の作況指数(10月11日付け東北農政局)は、県全体103(中通り104、会津103、浜通り104)となっています。

2 大豆

収穫は、平年並の11月初旬に始まっています。一部で落葉がやや遅れています。

3 小麦

播種は、平年並の10月中旬より開始されています。

4 そば

収穫は、平年並の9月下旬から始まり、終期となっています。

表1 本年の刈取期(県農林事務所調べ)

年次	刈取期(月.日)		
	始期 (5%終了)	盛期 (50%終了)	終期 (95%終了)
本年	9.17	10.6	10.24
平年	9.25	10.9	10.25
平年差	-8	-3	-1

【野菜】

1 秋冬にら

2年株は、平年よりやや遅い10月上旬から捨て刈りが行われ、10月下旬から収穫が始まっています。1年株は、平年並の10月下旬頃から捨て刈りが開始されています。夏季の高温や日照不足、連日の降雨により、葉幅が狭く徒長しており、株養成が十分でないほ場が見られます。

病害虫は、一部のほ場で白斑葉枯病やさび病が発生しています。

2 いちご

促成栽培の普通育苗では、高温の影響により花芽分化が平年より1週間程度遅く、定植は9月中旬から行われました。頂花房は10月下旬より開花が始まっています。

病害虫は、炭そ病やハスモンヨトウの発生が多い傾向にあります。

【果樹】 (福島県農業総合センター果樹研究所における11月1日現在の生育概況)

1 りんご

(1) 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が84.4mm(平年比100%)、横径が90.0mm(平年比99%)と平年並の状況です。

満開後日数で比較すると、平年並となっています。

(2) 成熟状況

「ふじ」の満開後192日(10月31日)における成熟調査の結果は、果実硬度が11.7ポンドと平年より低く、糖度は14.8° Brixで平年並、リンゴ酸含量は0.37mg/100mlで平年よりやや低く、デンプン指数が4.7と平年並となっています。果皮中クロロフィル含量は平年より低く、果皮中アントシアニン含量は平年よりかなり低い状況です。

※りんごのデンプン指数

: 指数1~5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

(3) 収穫期と果実品質

「シナノスイート」(M9 ナガノ台)の収穫盛期は10月15日と平年より5日遅く、昨年より2日遅くなりました。

果実の大きさは292gで平年より小さく、糖度は15.2° Brixで平年並でした。

「玉林」(マルバカイドウ台)の収穫開始日は、10月22日で平年より2日早くなりました。

10月31日(満開後196日)収穫時の果実品質(参考値)は、果実の大きさが302gで平年並、糖度は13.6° Brixで平年並でした。

【花 き】

1 ストック

年内出荷作型では、開花時期は平年に比べやや遅いものの、10月上旬頃から出荷が開始されており、各地域において10月下旬以降から出荷量が徐々に増えてくる見込みです。

春彼岸出荷作型では、生育は順調です。

病害虫では、コナガの発生が見られています。

2 シクラメン

生育は概ね平年並からやや遅いですが、高温年だった昨年度ほどの遅れではありません。11月上旬から出荷が開始されており、11月下旬から12月上旬にかけて出荷量が増えていく見込みです。

病害虫では、灰色かび病の発生が散見されています。

3 枝物類

サクラは、概ね平年並の生育であり、冷蔵処理後に年内から出荷が開始される見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ)
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>